

【骨粗鬆症リエゾンサービスチームについて】

当院での骨粗鬆症リエゾンサービス (Osteoporosis Liaison Service : OLS) チームは 2023 年 2 月に結成されました。リエゾンとは、「連絡係」や「つなぎ」といった意味があり、診療におけるコーディネーターの役割を意味します。このチームは、一度骨折した患者様の再骨折 (二次骨折) を予防することや、骨折をしたことのない方に対して、骨折 (一次骨折) の予防を取り組みとして行っています。

チームには、医師だけでなく、看護師、地域連携職員、理学療法士、薬剤師、管理栄養士、放射線技師、医療事務職員で構成されています。この中から 2023 年に日本骨粗鬆症学会が認定する骨粗鬆症マネージャーが 2 名看護師から誕生しました。

現在の取り組みは、月 1 回骨粗鬆症リエゾンチーム会議を開催し、骨折患者様の治療薬や退院後の治療フォローアップの検討を主に行っています。対象としている骨折は、骨が脆い状態となって引き起こりやすい大腿骨骨折、上腕骨骨折、前腕骨骨折、脊椎の骨折としています。受傷して入院すると、医師、薬剤師、看護師から治療や薬の説明を行い、栄養士による栄養指導、また理学療法士によるリハビリや運動指導を行っています。

当チームの 2023 年の取り組みにより、大腿骨近位部骨折に対する骨粗鬆症治療薬の開始割合は 2022 年の 33%から 2023 年では 80%となって、多くの患者様に対して二次骨折予防としての取り組みができています。

【外来での取り組み】

骨粗鬆症とは、「骨強度が低下し、骨折のリスクが増大する骨格疾患」と定義されています。「いつの間にか骨折」や、「くしゃみだけでの骨折」も起こり得ます。一度骨折をすると二次、三次骨折が起こりやすく、患者様の QOL (生活の質) を著しく低下させ、健康寿命を短縮させる原因となります。

当院へ外来通院をする患者様に対しましては、骨粗鬆症と診断をされ、治療を開始することとなった場合、医師から骨粗鬆症とはどんな病気か、これからどのような検査、治療を行っていくか説明を行います。看護師や栄養士からは、食事や運動のアドバイス、また治療薬剤の説明や副作用などの確認をして、治療開始や継続のためのサポートを行っています。来院予定日に来られなかった患者様に対しては、電話連絡にて来院の可能な日を再調整して、治療が継続できるように取り組んでいます。

骨粗鬆症マネージャーが在籍していますので、気軽に相談できようにお声かけを行っています。